

## 平成23年第14回定例会一般質問通告書

- 通告1番  
質問方式  
1件目  
質問事項  
質問の相手  
質問の要旨
- 大 瀧 りう子 議員  
一問一答方式  
防災計画に脱原発対策を  
町長  
3月11日の東日本大震災で地震と津波によって、女川原発は外部電力5系統のうち4系統を失い、かろうじて1系統が残ったため、原子炉の冷却を維持することができた。「紙一重」のところで福島第一原発のような惨事からは逃れることができた。  
しかし、30キロ圏内に位置する本町では、具体的な防災計画が必要であり、脱原発を掲げることが大切と考えるが伺う。  
また、水や食品の安全のため、放射線測定器を増やし、きめ細やかな測定が必要であるがその考えは。
- 2件目  
質問事項  
質問の相手  
質問の要旨
- 被災後の障害者支援は  
町長  
3月11日に起きた東日本大震災は、障害のある人々にとっては大きな衝撃となっている。  
災害後の障害者の実態と、8ヶ月経過した現在の障害者の現状を伺う。  
また、障害者自立支援法に代わる障害者福祉法案は、市町村では「10カ年戦略」に基づき、1期5年の福祉計画の策定が求められているが、本町の取り組みを伺う。
- 通告2番  
質問方式  
質問事項  
質問の相手  
質問の要旨
- 山 内 昇 一 議員  
総括質問方式  
活力ある南三陸型復興への取り組みは  
町長  
本町では、3.11の壊滅的大震災から早くも9ヶ月。今回、歴史的な大震災の早期復興のため、震災復興計画策定会議、町民会議、地域懇談会を開催したが、これを基礎に十分踏まえ、計画素案が決定された。震災計画に基づく10カ年の事業が、いよいよ本格的にスタート

される。

緊急事業が多い中で、優先課題の復興は、スピード感を持って被災各地の整備や改善を強力に推進すべきです。今後のまちづくりについて以下の点を伺う。

①高台移転・職住分離は重要であるが、過去にあった、全国の大震災から完全復興を果たした市町もある。先人の教訓を本町に活かすべきと思うが考えを伺う。

②若者の雇用対策が厳しい中、本町の基幹産業である、農林水産部門の再生が遅れているが、支援策を伺う。

③町外の仮設住宅者も多く、議会傍聴の不便から議会中継の再開を伺う。

通告3番  
質問方式  
質問事項  
質問の相手  
質問の要旨

千葉伸孝議員

一問一答方式

南三陸町震災復興計画（素案）の実現性は  
町長

①復興計画のみちすじの目標1に「安心して暮らせるまちづくり」の平成24年度からの高台移転事業は、戸建て住宅と公営住宅があり、その建設最盛期が6年目の平成28年度末に迎えるというが、町長は入居移転のスタートをいつごろと目標にしているのか。

目標2には「自然と共生するまちづくり」と唱っている。自然環境と南三陸町の美しい景観に配慮した高台での住宅造成を、2年目から始まると計画しているが、建設制限の志津川地区の形成を町長はどのように考えているのか。

目標3では「なりわいと賑わいのまちづくり」があり、知事の「水産特区構想」や前菅総理の東日本の水産業の復興が最重要課題との発言がある。それに向かい多くの資金が交付され、水産業の整備や企業再建への補助金制度により、復旧から復興へと進んでいる。その中で、南三陸町における大企業と弱小企業の格差を町長はどう見て、どんな対策をしていくのか。

②復興の道すじの計画遅延は人口減少と密接な関係があり、間違いなく今人口流出が進行している。その歯止め策を町長はどのように講じていくのか。

通告4番 菅原辰雄議員  
質問方式 総括質問方式  
質問事項 教育環境の現状と課題について  
質問の相手 教育長  
質問の要旨 大地震津波被害により、学校、家庭等、児童、生徒の教育環境は大きく変わり9ヶ月が経過した。町として現状と課題をどう捉え、どのような対応をしていくのか。

通告5番 鈴木春光議員  
質問方式 一問一答方式  
1件目  
質問事項 災害復興土地利用計画進捗状況は  
質問の相手 町長  
質問の要旨 震災から9ヶ月が過ぎ去ってしまいました。  
復旧復興に向け、一丸となって取り組んで参りました結果、がれきの撤去作業等も進んで第2次仮置場も示されるなど、また、仮設住宅にも防寒設備がなされ、目に見えて復旧がなされている。南三陸町震災復興計画（素案）が示されてはいるが、その後の災害復興土地利用の進捗について伺います。

2件目  
質問事項 旧入谷中学校跡地活用はどうなっているのか  
質問の相手 町長  
質問の要旨 進出企業の受け入れに当って校舎解体年次まで決定され、早急に事業にかかるものと期待されておりましたが、3月11日の震災によりどうなってしまったのかと気にかけているところであります。被災避難者始め、仕事がない、勤め先が見つからないの声を多く聞きます。雇用創出の面からいっても早急な対応策を講ずるべきと考えますが、受け入れ準備とか時期とか交渉進捗はどうなっているのか伺います。

通告6番 星 喜美男 議員  
質問方式 総括質問方式

1 件目

質問事項 建築資材の高騰対策について

質問の相手 町長

質問の要旨

復興計画も素案が示され、高台移転と住まいに関する住民説明会が始まるなど、いよいよ住まいの復旧・復興に向けて動き出し、一筋の光が見えてきた感じがする。しかし、全国的に建築資材の品薄や高騰がおきており、間違いなく復興の足かせになる。

商社やハウスメーカー等の買い占めによるものだそうで、国・県など行政の厳しい監視と指導が求められるが、その取り組みは。

2 件目

質問事項 消防団活動について

質問の相手 町長

東日本大震災では、多くの消防団員が犠牲となっている。

本町でも4人の団員が殉職をされており、改めて消防団員としての使命と安全の確保について確認をする必要があるものと思うがどうか。

また、震災前から団員不足に悩んでいた地区も多く、震災により、さらに厳しいものとなっていることから、班の再編は避けられないものと考えられ、将来を見据えた計画に基づく消防車等の配備が必要と思うがどうか。